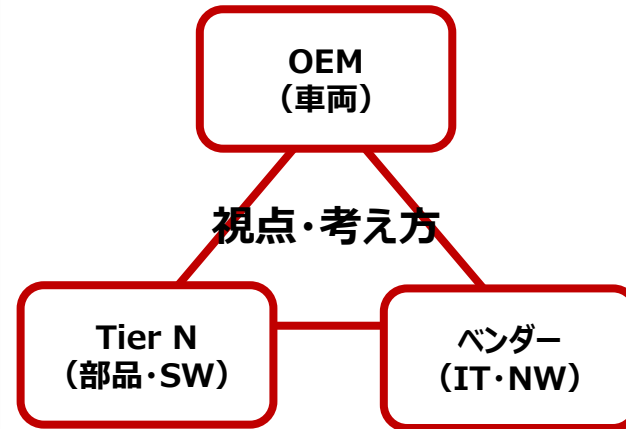




ポイント



期待される成果

巧妙なシナリオに裏打ちされた最新の有事対応ノウハウを習得

有事におけるOEM/サプライヤー間の連携に係る課題の確認

演習結果を自社に持ち帰ることで人財育成やプロセス改善に貢献

協同演習SWG

コネクテッドカーのサイバーインシデントの擬似体験を通して、有事に備える

月一回で定例会議を開催。年間の活動は大きく2つであり、1月～6月の演習準備、及び7月～12月の活動成果レポートの作成で構成される。SWGにはOEM、サプライヤー、セキュリティ事業者が参画している。各社が強みを生かし、より実効性の高いリスクシナリオの検討、演習をスムーズに進めるための様式類やファシリティの準備等、個社では思いつかない様々なアイデアと発想を生かし、“協同”ならではの質の高い演習機会を用意。



デロイト トーマツ サイバー合同会社
高橋 宏之

これまでの活動

第2回 2023/6 50社160名が参加。インシデント対応の一連の流れをテーマとし、昨年実施した第1回のアンケート結果も踏まえて、特に分析フェーズの対応に主眼を置き開催。コネクテッドカーのシステム構成を踏まえて、参加メンバーがそれぞれの視点で分析を行い、その結果を基に闊達な議論が行われた。

グループメンバーの声

「OEMメンバーと異なる視点から実践的な議論ができたのは大きな収穫」
(サプライヤー)

グループメンバーの声

「緊迫した状況の中で、自動車産業の方がどう考えるのかを直接聞く事が出来るのは、他では得難い機会」
(セキュリティ事業者)